

学校教育目標 やさしく、たくましい子どもの育成(やさしく、たくましく)

よく学ぶ よく遊ぶ 明るくあいさつ 黙って掃除

“子ども、保護者、地域、教職員、みんなが誇りに思い、楽しいと思える学校づくり”

〒801-0833 門司区清滝5-3-21 TEL 331-1708 FAX 331-1709 校長 三栗谷 進



明日、2学期の終業式を迎えます。1年間で一番長い学期が終わりそうです。

学期末個人懇談会が明日あります。寒い中ですが、ご参加のほど、よろしくお願いいたします。

2学期は、校外行事などもたくさんあり、実りある学期となりました。保護者の皆様には、学校開放週間、校外行事、そして登校指導等で多くのご協力をいただきました。皆様のご理解とご協力に、

心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

温かい声かけに感謝！

丸山校区、錦町校区では、子どもの下校時に見守りをしてくださっています。ありがとうございます。

また、朝、登校してくる子どもの様子を見てみると、通勤途中の方が、子ども達に「おはよう。」「いってらっしゃい。」などの声かけをしてくださっているところを目にします。心が温かくなります。ありがとうございます。おそらく色々な場面で、子ども達は地域の方に声をかけられながら生活しているんだと、想像できました。でも、声をかけられた時に、あいさつを返せなかったり、言うことを素直に聞き入れなかったりすることもあるのかな、と考えました。あいさつやコミュニケーションは、一方通行ではありません。言われたら、心をこめて返す、素直に聞き入れるなど、これからも子ども達へ指導していきたいと考えています。

中には、声をかけられても恥ずかしくて返せない子どももいます。気持ちはあっても言葉に表したり、行為に現したりすることは、とても難しいことです。でも、子ども達は素直な心で、言葉や行為で表現することができるのです。だからこそ、子どもへの声かけやプラス発信は必要だと思うのです。

子ども達を温かく見守ってくださる地域の皆様に、改めて感謝です。ありがとうございます。

地域の皆様、これからもよろしくお願いいたします。

安全で、意義ある冬休みを！

もうすぐ、冬休みが始まります。子ども達はとても楽しみにしています。「クリスマス」「お正月」、子どもにとっての楽しみは、今も昔も変わりません。

ところが、生活の様子はずいぶん変わってきたようです。環境が変わってきたというのも原因の一つかもしれませんが、外で遊ぶ姿が少なくなってきました。風揚げ、コマ回し、羽子板…今はこんな姿を見ることが少なくなりました。

家の中ではどうでしょうか。昔はすごろくや福笑い、トランプなど、家族みんなでにぎやかに遊んでいたように思うのですが…。みなさんのご家庭ではどうでしょうか。

そこで、昨年度も同じお願いをしましたが、今年の冬休



みに是非取り組んでいただきたいことがあるのです。一つは、「子どもと一緒に遊ぶ」ということです。家の中でも、外でも、家族でふれ合いながら遊んでください。もう一つ、お正月という大きな行事を通して、「あいさつと手伝いをさせる」ということです。親戚や知り合いの方に、お正月のあいさつをする機会は多いと思います。また、お正月に向けての大掃除や、お客様が来たときのお手伝いも増えるでしょう。この機会を逃さずに、是非取り組んでみてください。子どもにとって、体験することは何よりの学びです。

安全で、意義ある冬休みになることを祈っています。

1月8日(火)の3学期始業式には、元気な子ども達の笑顔に会えることを楽しみにしています。

今年を振り返って思うこと

早いもので、平成24年(2012年)が暮れようとしています。今年は、10月にとても悲しい事故がありました。ご冥福をお祈りすると共に、ご家族の皆様には改めて、心からのお悔やみを申し上げます。

学校では、授業を中心に、小さな積み重ねを大切にしてきました。学力向上はもちろん、友達関係づくりなどにコツコツと取り組んできました。

教職員は常に前向きに、そして子どものために、学校のためにという思いで取り組んでいます。担任はもちろんですが、担任以外の教員、事務職員、校務員、栄養職員、給食調理士も同じ思いで取り組んできました。その熱い思いが、子ども達へ確実に伝わっていると実感しています。

また本校は、日頃からPTA役員さんをはじめ、委員の皆様、保護者の皆様、そしてスクールヘルパーやブックヘルパー、地域の皆様の絶大な協力をいただいています。本当に感謝しています。ありがとうございます。子ども達は、色々なところで頑張る大人の姿を見たり、声をかけられたりして、安心感をもちながら、勇気づけられたり、自分も頑張ろうという気持ちを育んだりしています。(逆に、大人が勇気づけられることもあります。)

殺人や虐待などの悲しい事件が起こるたびに、大人が子どもを守るという強い意識をもつとともに、子どものお手本にならなければならないと感じています。“自分一人くらい〇〇しなくても…”ではなく、“自分一人でも〇〇をやり遂げる。”という前向きな姿、強い気持ちを示していけば、必ず子ども達にとって大きな力になると信じています。

今後とも、健やかな子どもの成長のために、お互いに「お疲れさまです。」「ありがとうございます。」の気持ちをもって、プラス思考で連携していきましょう。

門司海青小学校の子ども達、教職員、保護者、地域の皆様に感謝し、また誇りに思いながら今年も暮れていきます。



みなさん、
よい年を
お迎えください！

